



200ブース以上が出展し1,000人以上が来場 「新・農業人フェア」が東京で開催！

新・農業人フェア「働く！農業EXPO2018」

- 期日：7月28日(土)
- 場所：東京国際フォーラム ホールE (B2F)
- 主催：(株)リクルートジョブズ 後援：農林水産省、厚生労働省
- 内容：出展自治体・団体・法人等による就農相談、新規就農に関する各種セミナー 等

国内最大の新規就農相談会が開催！

「新・農業人フェア」は、毎年複数回開催される国内最大規模の新規就農相談会です。内容は大きく2種類に分けられ、自治体や農業法人が出展する「働く！農業 EXPO」と農業法人への就職・転職に特化した「農業就職・転職 LIVE」があります。今回開催された「働く！農業 EXPO2018」では、自治体・農業法人等が202ブース出展し、1,006名もの新規就農希望者が来場しました。当日は、就農相談以外にも、新規就農に関する無料セミナーも開催され、農業法人の経営者などが、自身の経験をもとに農業に関する様々な講話を行っていました。

また、今回の開催では、来場者には自身の考える就農時期に応じて異なる色のバッグが配布されました(「3年以内の就農を希望」はオレンジ、「就農時期は未定」はブルー)。バッグの中には、各種資料とブースでの相談をスムーズに行うための「新・農業人ヒアリングノート」などが入っていました。これにより、出展側は相談者の就農に対する考えをバッグの色で把握し、相談者はノートを参考に円滑な情報収集が行えるといった工夫がされていました。

群馬県からも多数の7ブースが出展！

群馬県からは、就農支援ブースには「群馬県新規就農相談センター」と「中之条町農業担い手受入協議会」、有機農業を行っている「くらぶち草の会」の3ブースが出展し、求人募集ブースには「グリーンリーフ(株)」や「(有)古代米浦部農園」、「(株)イヅカフラワープランツ」、「(有)果実庭」の4ブースが出展していました。就農支援ブースでは、就農相談センターには10組、中之条町に7組が就農相談に訪れ、群馬県での新規就農に向けて真剣に相談を行っていました。ブースでの相談では、自営での就農を検討する方が多い一方で、若い来場者の中には、「いきなり自営で就農するよりは、まずは雇用就農で知識と技術を身に付けたい」といった声も聞かれました。

求人ブースに出展している4法人は、「新・農業人フェア」に継続して出展している法人が多く、「新・農業人フェアが一番雇用につながる」とコメントしていました。中でも、(有)古代米浦部農園では、昨年の本イベントを機に雇用した若手職員をブースに配置するなど、新規の雇用に向けて熱心にPRを行っていました。

《出展団体ブースで聞いてみよう!》



会場で配布されたバッグとノート

ブース番号	ブース名	月 日 ()	
		ブース種別	月 日 ()
		求人	研修生
		生徒	相談
■取組強い項目について聞いてみよう!			
【質問のヒント】			
・どんな作業を栽培(動物の場合は飼育)しているの? ・作物へのこだわりはなんですか?			
・どこへ販売しているの? など			
.....			
.....			
.....			
■業務内容について聞いてみよう! ※研修農業ブースの場合は研修内容について、生産農業ブースの場合は講習や研修の内容について			
【質問のヒント】			
・1日のスケジュールを教えてください。 ・やりがいや楽しさについて教えてください。			
・最初は何かから始めるのですか? など			
.....			
.....			
.....			
■はたらき方について聞いてみよう! ※研修農業ブースの場合は研修の受け方について、生産農業ブースの場合は受け方について			
【質問のヒント】			
・長期休暇はありますか? ・繁忙期、閑散期での働き方の違いはありますか?			
・実際に先輩連はどのような働き方(研修の受け方、学び方)をしていますか? など			
.....			
.....			
.....			



ブースでの就農相談の様子

ヒアリングノートの中身